

再チャレンジ C097:プレゼント応募企画の実施

C097:プレゼント応募企画の実施

あなたは自分のウェブサイトでプレゼント企画を実施しました。
プレゼントには A と B の二種類があります。

当選者は以下の条件に従って、選出されます。

- ・整数 X の倍数番目の応募者はプレゼント A の当選者とする
- ・整数 Y の倍数番目の応募者はプレゼント B の当選者とする

応募者の数が与えられるので、各応募者のプレゼント当選情報を出力してください。プレゼント A と B の両方当選した人は AB、A だけ当選した人は A、B だけ当選した人は B、どちらも当選していない人は N を出力してください。

入力例 1 の場合、応募者の人数は 5 人なので、5 人の当選情報を出力します。プレゼント A の当選者は、2 の倍数番目の応募者で、プレゼント B の当選者は 4 の倍数の当選者なので、2 番目の応募者は A、4 番目の応募者は AB となり、それ以外の応募者は N になります。



評価ポイント

10回のテストケースで、正答率、実行速度、メモリ消費量をはかり得点が決まります。
より早い解答時間で提出したほうが得点が高くなります。

1. 複数のテストケースで正しい出力がされるか評価 (+50点)
2. 解答までの速さ評価 (+50点)

入力される値

入力は以下のフォーマットで与えられます。

N X Y

- ・ 1 行目にはそれぞれ整数 N , X , Y がこの順で半角スペース区切りで与えられます。これらは応募者が N 人であることを示し、 X の倍数番目の応募者がプレゼント A の当選者となり、 Y の倍数番目の応募者がプレゼント B の当選者となることを示します。
- ・ 入力は 1 行となり、末尾に改行が 1 つ入ります。

それぞれの値は文字列で標準入力から渡されます。標準入力からの値取得方法はこちらをご確認ください
(</guide/samplecode.html>)

期待する出力

それぞれの応募者の当選情報を以下の形式で出力してください。

a_1
a_2
...
a_N

- ・期待する出力は N 行からなります。
- ・ i 行目 ($1 \leq i \leq N$) にはそれぞれ i 番目の応募者の当選情報を出力してください。
- ・ プレゼント A に当選しているとき、大文字アルファベットの A を、プレゼント B に当選しているとき、大文字アルファベットの B を、プレゼント A、Bの両方当選しているとき、大文字アルファベットの AB を出力し、当選していないとき、大文字アルファベットの N を出力してください。
- ・ 出力最終行の末尾に改行を入れ、余計な文字、空行を含んではいけません。

条件

すべてのテストケースにおいて、以下の条件をみます。

- ・ $1 \leq N \leq 1,000$
- ・ $1 \leq X, Y \leq N$

入力例1

5 2 4

出力例1

N
A
N
AB
N

入力例2

6 3 2

出力例2

N
B
A
B
N
AB

解答欄

上記の問題の解答コードを下記入力欄に記入し提出してください。

複数のテストケースでテスト致しますので、サンプル入力だけでなく入力値を変数としてデバッグしていただく事をお勧めいたします。

標準入力の値の取得方法は下記ページのサンプルコードを参照ください。

値取得・出力のサンプルコード (</guide/samplecode.html>)

各言語のバージョン、環境情報 (</guide/language.html>)

解答欄

Java



```
1 import java.util.*;
2 public class Main {
3     public static void main(String[] args) {
4         // 自分の得意な言語で
5         // Let's チャレンジ!!
6         Scanner sc = new Scanner(System.in);
7         String line = sc.nextLine();
8         System.out.println("XXXXXX");
9     }
10 }
```



動作確認で使うテストケースを選択

入力例1



提出前動作確認